

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 平成 年 月 日 報告

担当課

農政課

補助金等の名称	畜産総合対策事業補助金						
予算科目	一般会計	款	5	項	1	目	4
予算事業名	畜産総合対策事業						
実施計画の位置づけ	生産体制の強化を図ります。						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付 国直接・県直接・国県補助なし					40,346 千円	
交付先	佐倉市畜産組合連合会						
支出根拠規定	佐倉市畜産総合対策事業補助金交付要綱						

補助の目的	地域環境と調和した健全な畜産経営の確立と、ゆとりとやりがいのある畜産経営の確立を図る。
補助の効果	生産機械・施設整備を行うことにより、労力軽減・生産性の向上を図る。ヘルパー利用により、ゆとりのある畜産経営の確立が図れる。
補助対象事業の具体的内容	ヘルパーの利用増進のための補助、生産機械・施設への補助
対象経費及び補助率	事業費の1/3以内
補助金額の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー利用促進 10,000円 × 180人 = 1,800,000円 ・生産機械施設整備 3,600,000円 計 5,400,000円 × 1/3 = 1,800,000円
備考	<p>1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由</p> <p>その他</p>
補助期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	農政課	
補助金等の名称		畜産総合対策事業補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,800	【目標値】 畜産農家8戸 酪農ヘルパー6戸 機械導入2戸	1,666	畜産農家4戸 酪農ヘルパー3戸 機械導入1戸
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	農家戸数の減少等により、酪農ヘルパーの利用件数は目標を下回った。今後は、ヘルパーの利用促進による軽労化や、機械導入による労力軽減・生産性の向上を推進するとともに、地場畜産物の消費拡大等を推進することによって畜産業の振興を図る。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,800	【目標値】 畜産農家8戸 酪農ヘルパー6戸 機械導入2戸	42,146	畜産農家5戸 酪農ヘルパー4戸 機械導入2戸 施設整備1戸
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	農家戸数の減少等により、酪農ヘルパーの利用件数は目標を下回った。今後は、ヘルパーの利用促進による軽労化や、機械導入による労力軽減・生産性の向上を推進するとともに、地場畜産物の消費拡大等を推進することによって畜産業の振興を図る。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,800	【目標値】 畜産農家8戸 酪農ヘルパー6戸 機械導入2戸	1,800	畜産農家5戸 酪農ヘルパー4戸 機械導入2戸
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	農家戸数の減少等により、酪農ヘルパーの利用件数は目標を下回った。今後は、ヘルパーの利用促進による軽労化や、機械導入による労力軽減・生産性の向上を推進するとともに、地場畜産物の消費拡大等を推進することによって畜産業の振興を図る。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,800	【目標値】 畜産農家8戸 酪農ヘルパー6戸 機械導入2戸	1,800	畜産農家4戸 酪農ヘルパー4戸 機械導入2戸
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	農家戸数の減少等により、酪農ヘルパーの利用件数は目標を下回った。今後は、ヘルパーの利用促進による軽労化や、機械導入による労力軽減・生産性の向上を推進するとともに、地場畜産物の消費拡大等を推進することによって畜産業の振興を図る。			
平成31年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,800	【目標値】 畜産農家8戸 酪農ヘルパー6戸 機械導入2戸		
	成果達成状況の分析と今後の方策			
計画期間終了後の最終的な目標値	畜産農家の健全かつ効率的な畜産経営を図る。			

計画期間終了後の 最終的な成果値	
---------------------	--